

# 年間スケジュール 副専門研修

＜一般的な履修スケジュールの例＞

## 研修課題：「機械工業製品の組立性評価手法」

	授業計画	授業内容
4月	第1回 オリエンテーション	<ul style="list-style-type: none"><li>副専門研修の目的、意義、進め方について説明する。</li><li>履修スケジュールについて調整を行う。</li></ul>
5月	第2回 演習課題の設定	<ul style="list-style-type: none"><li>研修課題「機械工業製品の組立性評価手法」の説明する。</li></ul>
	第3回 演習で用いる手法についての講義	<ul style="list-style-type: none"><li>組立性評価の意義と技術動向についての講義を行う。</li></ul>
6月	第4回 演習で用いる手法についての講義	<ul style="list-style-type: none"><li>評価手法の種類と具体的な手法についての講義を行う。</li></ul>
	第5回 演習課題の実施計画についての討論	<ul style="list-style-type: none"><li>評価対象として用いる工業製品の選定する。</li></ul>
7月	第6回 演習課題の実施計画の作成	<ul style="list-style-type: none"><li>今後のスケジュールを立案する。</li></ul>
8月		
9月	第7回 演習課題の実施	<ul style="list-style-type: none"><li>評価データの収集と作成を行う。</li></ul>
	第8回 演習課題の実施	
10月	第9回 演習結果の解析手法についての講義 (演習課題の中間報告)	<ul style="list-style-type: none"><li>作成した評価データについての中間報告と検討を行う。</li></ul>
	第10回 解析のまとめ (評価データの集計と評価の実施)	<ul style="list-style-type: none"><li>評価データの最終的な集計を行う。</li><li>データに基づいて組立性評価を行う。</li></ul>
11月	第11回 解析結果についての討論	<ul style="list-style-type: none"><li>評価結果に基づいて、対象製品の設計改善点について討論を行う。</li></ul>
12月	第12回 レポート作成	<ul style="list-style-type: none"><li>討論の結果について、レポートを作成する。</li></ul>
	第13回 口頭発表の準備	<ul style="list-style-type: none"><li>課題の実施結果と討論についてまとめ、口頭発表の準備を行う。</li></ul>
1月	第14回 口頭発表と討論	<ul style="list-style-type: none"><li>課題についての口頭発表を実施し、組立性評価結果について討論を行う。</li></ul>
	第15回 講評とまとめ	<ul style="list-style-type: none"><li>発表内容について、指導教員が講評を行う。</li></ul>

### 研修課題：「組込型コンピュータを用いたデジタル制御」

	授業計画	授業内容
4月	第1回 オリエンテーション	・副専門研修の目的、意義、進め方について説明する。
	第2回 演習課題の設定	・研修課題「組込型コンピュータを用いたデジタル制御」についての説明を行う。
5月	第3回 演習で用いる手法についての講義	・デジタル制御におけるシステム表現手法についての講義を行う。
	第4回 演習で用いる手法についての講義	・表現手法を用いた解析についての講義を行う。
	第5回 演習課題の実施計画についての討論	・課題とするシステム（位置決めシステム）について、システム方程式をつくって解析し、討論を行う。
6月	第6回 演習課題の実施計画の作成	・討論の結果に基づき、演習計画を作成する。
	第7回 演習課題の実施（課題システムの構築）	・課題実験システムを、アクチュエータ、駆動機構、センサを用いて作成する。
	第8回 演習課題の実施（課題システムの構築）	
	第9回 演習結果の解析手法についての講義（組込型コンピュータシステムの講義）	・課題実験で用いる組込型コンピュータシステムについて学ぶ。
7月	第10回 解析のまとめ （組込プログラムの作成・位置決め制御実験の実施）	・第9回の講義に基づいて、課題実験システムの制御プログラムを作成する。 ・制御プログラムを用いて位置決めシステムを駆動し、位置決め精度のデータを収集する。
	第11回 解析結果についての討論	・実験結果のデータの統計処理、グラフ化手法について学び、データの整理と可視化を行って討論する。
	第12回 レポート作成	・解析結果や討論の内容をレポートにまとめる。
8月	第13回 口頭発表の準備	・課題についての口頭発表の準備を行う。
	第14回 口頭発表と討論	・課題についての口頭発表を実施し、討論を行う。
	第15回 講評とまとめ	・発表内容について、指導教員が講評を行う。